

**産業展望・東アジア連携専門委員会検討状況中間報告（案）**

**平成 1 8 年 5 月 2 4 日**

## 1. 検討経緯

産業展望・東アジア連携専門委員会は、我が国の国際競争力や、東アジアとの都市間連携の観点から、全国の区域について定める国土形成計画に関する専門の事項を調査することを目的として設置された。当委員会は、これまでに、9回（懇談会を含む）開催し、シームレス・アジアの構築に資する国土づくりについて、東アジア連携の考え方と我が国の対応の方向を検討してきた。

## 2. 検討内容

### 序 東アジア連携の考え方

**東アジア連携の考え方**：東アジアとともに我が国が発展するためには、東アジア諸国との相互依存関係の更なる緊密化が重要。高い潜在成長力を有する国・地域が多い東アジアに位置する我が国の持続的な成長のためには、東アジアの一員として、東アジアの繁栄・共生に貢献することが大事。東アジア域内でのヒト・モノ・情報の交流を促進するために、シームレスアジアの形成に向けた交通・情報通信基盤の形成が不可欠

- ・経済のグローバル化の進展とともに、世界経済は北米、欧州、アジアの三極構造が鮮明となっている。とりわけ、東アジアの経済成長はめざましく、世界経済にしめるウェイトが大きくなるとともに、我が国と東アジアとの物流、人の交流などが活発化
- ・今後も世界各国との協調を図っていくが、特に、高い潜在成長力を有する国・地域が多い東アジアのなかで、我が国が持続的な成長を続けるためには、東アジアの一員として、東アジアの繁栄・共生に貢献することが重要
- ・今後の東アジアの成長に伴い発生する東アジア共有の課題（都市、環境、エネルギー、海洋問題等）の解決のために、東アジア域内の連携を促進するとともに、各国の知見を積極的に共有することが重要
- ・我が国産業の国際競争力の強化が必要。我が国に蓄積された知的資源や海外の「人財」（単なる労働力ではなく、クリエイティブな人財）の活用が重要
- ・東アジア域内でのヒト・モノ・情報の交流を促進するために、シームレスアジアの形成に向けた交通・情報通信基盤の形成が不可欠

### (1) 我が国の産業構造と国際競争力の強化

**我が国産業の国際競争力の強化**：我が国産業の国際競争力の強化に向けて、相当程度の人口、産業、インフラが集積している都市圏において、我が国の成長のエンジンを形成していくとともに、地域の特性を活かして経済活力を維持していく

- ・産業構造を中長期的に展望すると、製造業は生産性が高く引続き我が国経済を牽引。サービス業は大きく成長し、雇用を創造
- ・世界及び東アジア規模のバリューチェーンを意識しつつ、我が国産業の高付加価値化を促進
- ・世界のイノベーションセンターとして、我が国から国際競争力のある新商品・新技術を提供し続けることが大事。我が国の国際競争力の強化のためには、既存の産業クラスター、

知的クラスターの促進が重要

- ・大学は、地域にとって重要な知的・人的資源であり、地域貢献型の産学連携等による地域振興の拠点。地域の大学等の知の拠点を核とした地域振興により、科学技術創造立国を推進
- ・地方の在来型の生活関連製造業、一次産業に係る新製品・新技術開発や産業の観光化など、地域資源（自然、歴史、文化、地場産業など）の活用により地域経済の活力を維持

## (2) 東アジアとの交流・連携の推進

**東アジア共通の問題解決のためのプラットフォーム構築：**各国政府・研究機関・国際機関等による情報交換・意見交換を行う場など、各国の知見を積極的に共有するためのプラットフォームを構築し、この場を通じて国家間・地域間・都市間連携を推進

- ・高い潜在成長力を有する国・地域が多い東アジアに位置する我が国の持続的な成長のためには、東アジアの一員として、今後の成長に伴い発生する東アジア共通の課題（都市、環境、エネルギー、海洋等）を解決することが重要
- ・東アジア共通の問題解決のプラットフォーム構築は、各国政府だけでなく、地方公共団体、研究機関、国際機関など多様なチャンネルによる推進が重要。例えば、実績のある都市間交流事業を促進することにより東アジアと連携する都市群を形成することが大事

**人の交流、知的交流・連携の推進：**異質文化との交流により異なる価値観を学ぶことは、創造的な人財の育成や多様な人財を受容れる社会の形成に必要。東アジアをはじめとする国内外の多様な人財の交流、連携を図っていく

- ・我が国には、アジアに関する研究機関（大学付属研究所、財団法人等）が全国的に立地。情報収集・発信・オピニオン形成機能を強化するためには、国内外のアジア研究機関間の人的・知的ネットワークの強化が重要。また、我が国にある国際機関と我が国のアジア研究機関とのネットワークの強化が重要
- ・多様な価値観を持つ人財を育成するため、例えば、東アジア域内で学ぶ留学生の増加を図る

**経済交流・連携の推進：**東アジア域内共通の投資ルールや経済協力を含む経済連携、人の交流の更なる促進によりソフト面でのシームレスアジアを形成

- ・専門的・技術的分野の外国人労働者が居住・滞在しやすいための衣食住医遊の環境整備
- ・東アジア域内共通の投資ルールや経済協力を含む経済連携により、東アジア域内市場の効率性の向上及び対日直接投資の促進が重要
- ・我が国は貿易面だけでなく、訪日外国人旅行者数のうち、韓国、台湾、中国、香港が全体の約6割を占めており、人の交流でも更に東アジアとの相互関係を緊密化させていく
- ・人の交流を促進するために文化資本（博物館の芸術作品、文化財的建物、音楽、文学等、文化的価値を具体化し、蓄積し、供給する資本）を活用し、国際観光、ビジター、コンベンション産業を振興
- ・世界を視野に入れた東アジア共通のPR活動により、東アジア域内や東アジアへの人の

交流を促進

- ・東アジア域内での「短期滞在」の査証免除国の将来的な見直し等による更なる人の交流促進

**東アジアとの連携を支える次世代を担う人財の育成：国際的に通用する人財、多様な人財を育成**

- ・天然資源に恵まれない我が国においては、人財こそ国の宝。国際的に通用する人財の育成は、我が国の長期的な成長にとり重要
- ・今後、より一層の東アジアなどの海外との連携・交流やそれを支える裾野としての地域経済の維持が必要となり、求められる人財が多様化
- ・産業界の現場と人財育成の現場との更なる連携など、実社会で求められる能力を養う実践的な教育の導入・拡大に向け、企業、学校、地域の力を結集
- ・東アジアをはじめとする海外からの留学生などを対象として、若者から社会人まで幅広くカバーする体系的な受入れ、交流を促進

(以上)